

古澤芳雄 小説家、劇作家、衛生學者、醫學博士。明治二十二年

八月二十七日大分縣生れ、昭和四十九年二月二十二日歿（六〇—一九七四）。

大正四年東京帝國大學醫科大學卒。武者小路實篤の影響を受け、六年

中川一政等と雑誌『青空』を創刊。のち文藝活動を離れ、歐洲留學後

金澤醫科大學教授、厚生省體力局技師、國立六ヶ所衛生学院院長等歴任。

著譯書『地を嗣ぐ者』（大正八年一月六日岩波書店）、『暗夜』（大

正八年十一月十五日岩波書店）、『樹間の光（愛する者の死）』（大

正十年二月二十八日岩波書店）、『地の鹽』（大正十年四月二十日岩

波書店）、『ムルハヤレン原著（シ

ユテナヤン・ツワイグ獨譯）』（コ

ムプラント』（譯、大正十年十一月

月二十日岩波書店）、『二部 コダビ

デ王』（大正十一年六月十五日藝

術社）、『祝福』（大正十二年五月

月二十日岩波書店）、戯曲集『東京

ての夢』（大正十二年十一月十五日岩波書店）、カヴァンタール『大後

の翼』（早川孝之共譯、大正十四年二月十五日表現の生活研究會「學

藝評論叢書」）、『崇高への道』（大正十四年五月一日文化生活研究

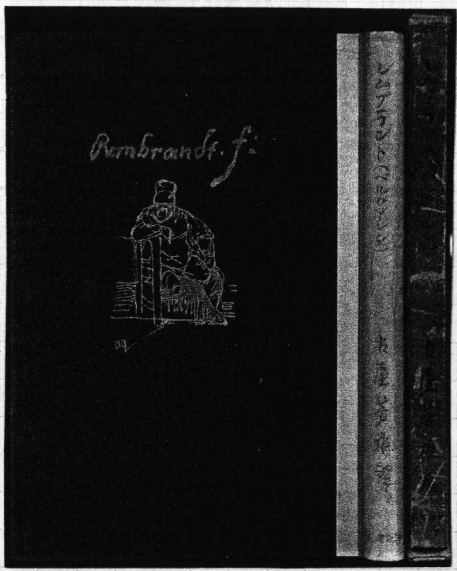
會）、『民族生物學概論』（昭和八年一月十日雄山閣）、『日本民族

は何處へ行く』（昭和十四年十一月十八日新書院、再刊、十五年十

一月十八日「國策協力版」）、『國王・人口・血液』（昭和十七年六月

月五日朝日新聞社）、『教學叢書・第十四輯』（中村重一合著、昭和

十八年四月二十日文部省教學局）、『決戰科學技術』（合著、芳香會



カヴァンタール『大後

浦邊 彰
中村重一合著、昭和
島津久基

「藤森謙一翁、昭和十九年七月十五日(山海堂)等。